

## マスク等医療用物資の備蓄及び備蓄倉庫の公開について

今後、新型コロナウイルス感染症の感染が更に大きく拡大する局面を見据え、県では、これまでマスク等の医療用物資を計画的に備蓄してきました。本日、県の備蓄状況が下記のとおりとなりましたのでお知らせします。

〔各医療物資別の備蓄量〕 ※下記 緊急配布2回分相当

物資名	備蓄量	物資名	備蓄量
サージカルマスク	1000万枚	N95(KN95)マスク	10万枚
アイソレーションガウン	32万枚	検査用手袋	440万枚
フェイスシールド	7万枚	サージカルガウン	5万枚
ゴーグル	4万本	防護服	1万枚

備蓄物資は、県内医療機関や社会福祉施設において医療用物資が不足している状況が見られた際に、県の緊急支援として配布を予定しています。

【別紙1】 備蓄物資の緊急配布（実施時期）

【別紙2】 備蓄物資の緊急配布（配布先・量）

県では、こうした物資支援の取組により、県民の安心・安全の前提となる医療・社会福祉サービスの安定供給の支援に努めます。

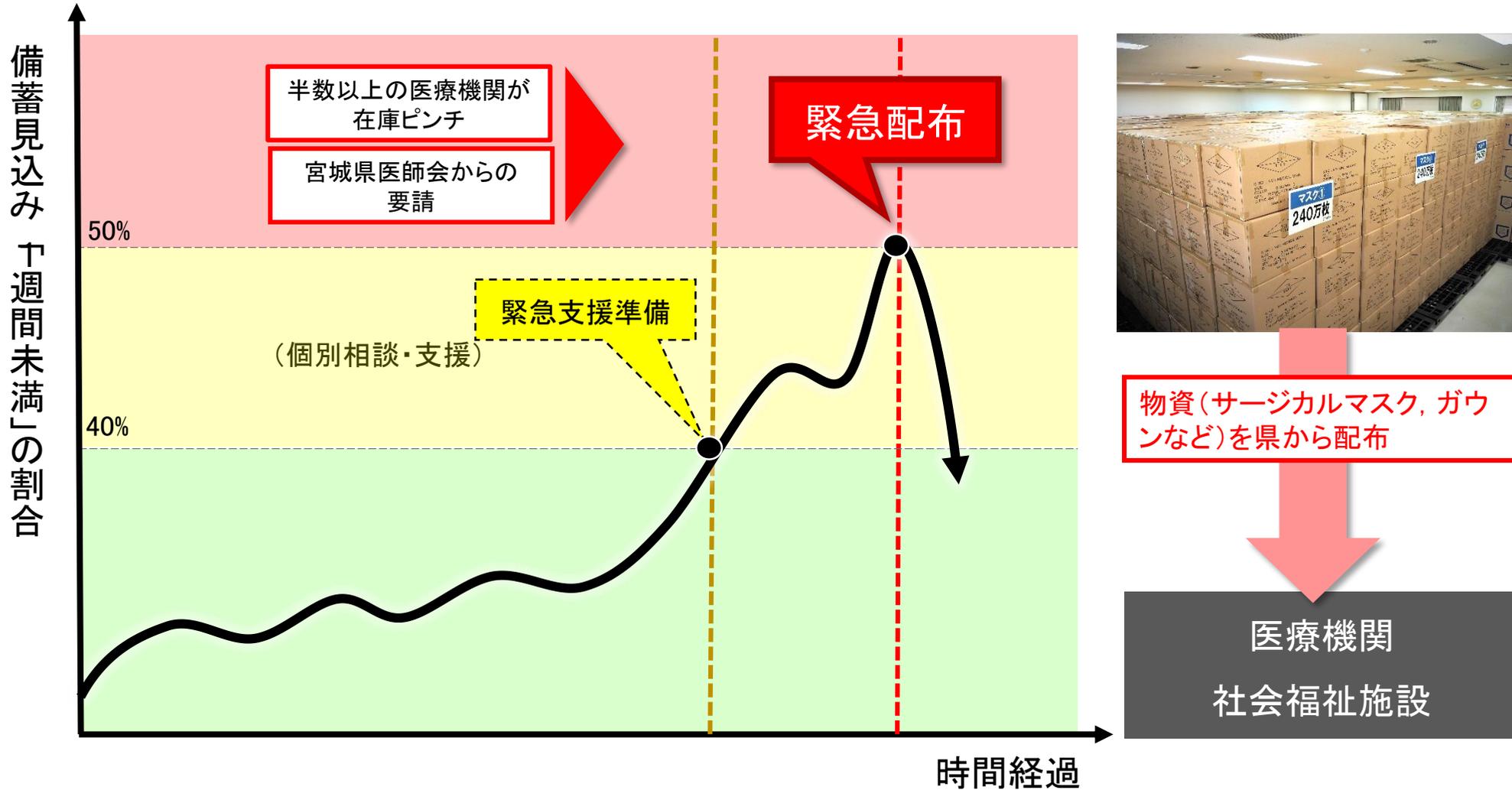
### --- 県備蓄倉庫の公開 -----

下記期日において、医療用物資の備蓄倉庫の一部を公開させていただきます。報道関係の皆様には、大量の医療用物資が備蓄されている状況を是非取材いただきたく御案内申し上げます。

期日：令和2年10月8日（木）10:00~11:00  
場所：県内（取材希望の方に別途御案内します。）

# 県備蓄物資の緊急配布(実施時期)

今後、新型コロナウイルス感染症の患者数が更に増加するなどし、半数以上の感染症医療機関等における医療用物資の備蓄見込みが「1週間未満」となったタイミング(物資の種類ごとに判断)又は宮城県医師会からの要請があった時点で県備蓄物資の緊急配布を実施します。



# 県備蓄物資の緊急配布(配布先・量(1回分))

備蓄した各物資は、緊急配布のタイミングで各施設に対し一斉配布を想定しています。  
(備蓄目標は、緊急配布2回分の量)

物資名	配布数合計	(うち) 配布先			
		医療機関	高齢者施設	障害者施設	児童福祉施設
サージカルマスク	500万枚	300万枚	150万枚	30万枚	20万枚
アイソレーションガウン	16万枚	10万枚	4万5千枚	1万枚	5千枚
フェイスシールド	3万5千枚	2万枚	1万枚	3千枚	2千枚
ゴーグル	2万本	1万本	5千枚	3千枚	2千枚
N95(KN95)マスク	5万枚	5万枚			
検査用手袋	220万枚	200万枚	15万枚	3万枚	2万枚

※1 施設内で感染者が発生した場合などの緊急時において、別途必要数を配布

※2 備蓄物資のうち、サージカルガウン及び防護服は、別途個々の施設からの要望に応じて配布

## 【サージカルマスク】

医療機関: 医療従事者5万×60日(2か月間)、高齢者施設: 職員+利用者15万人×10日間  
障害者施設: 職員+利用者3万人×10日間、児童福祉施設: 職員2万人×10日間

# 医療資機材の備蓄倉庫公開

